

令和2年度 学校評価アンケート集計結果まとめ

1 回答者数 生徒 927名(回収率 98.0%)[91.8]
保護者 591名(回収率 62.5%)[68.8]
教職員 78名(回収率 76.5%)[97.8]
[]内はR元年度

2 実施時期 令和2年12月9日(水) ~ 令和2年12月22日(火)

3 集計結果の概要

アンケートはA(そう思う)、B(大体そう思う)、C(あまりそう思わない)、D(そう思わない)、E(わからない)により回答していただきました。この結果に対して、AとBの合計がおおむね85%以上と70%以下の設問、顕著な項目に着目いたしました。

(1) 生徒のアンケートから

本校生徒は規範意識が高く、社会・学校のルールを遵守している割合が93%超、服装・頭髪等のルールを遵守していると認識している割合が92%超となっています。これは自尊感情と規範意識が高い値を維持しているとする県教委の調査結果と合致しています。また、「この学校に入学して良かった」という回答が89.8%と昨年の83%よりさらに高く、満足感を持って高校生活を送っていると考えられます。学習や進路に関する評価はいずれも高評価を示していますが、授業改善や指導の公平性に関して、他の設問に比べてやや低い傾向が見られました。

(2) 保護者のアンケートから

本校の教育目標や経営方針に対してご理解を頂戴いたしました。「進路達成のための努力」「教師への授業の取り組み」「地域拠点の視点に立った地域理解や公益活動を通じた地域づくり」「保護者が必要としている進路情報を提供している」について高い評価をいただいております。家庭と学校の情報交流についてもさくら連絡網等の活用により課題の改善が図られております。

(3) 職員のアンケートから

教職員は本校が掲げる教育目標が適切に掲げられ教科や分掌の目標に反映されていると認識しています。法令とサービスの遵守に関しては更に向上しています。交通マネー指導や自転車交通安全教室モデル校実技講習をはじめ、がん教育講演会など生徒のいのちを大切にする教育の実施に対して高い評価が見られます。授業以外に資格試験の学習や実習などの報告書作成等の取り組みがなされておりますが、家庭での学習習慣の定着については引き続き課題意識が高いものとなっております。

4 次年度への課題

今年度、コロナウイルス感染症の影響で今までの生活様式が一変いたしました。教育現場も改革を求められており、リモート授業などさまざまな新しいことが試みられてきました。また、働き方改革の旗頭の下、これまでの取り組みを見直ししながら、生徒・保護者の皆様のご期待に応えられるような学校運営に取り組んでまいります。

(1) 質の高いキャリア形成にむけて

生徒から望まれる「だれにでもわかりやすい授業」や「個別最適な学びと協働的な学び」の実現に向けた、学習ツールやICT機器の活用と、授業改善に向けた公開授業を推進し、指導力の向上に取り組んでまいります。さらに、指導と評価の一体化について研修を深め、ルーブリック評価を用いるなど、自己の理解度や学習のめあてを明確にすることで学習意欲の向上を図ってまいります。また、進路指導体制充実と生徒一人ひとりが活躍できる学校行事の工夫により、質の高いキャリア形成と自己有用感の育成を目指します。

(2) 家庭・地域と学校との関わり方について

開かれた学校を目指し、家庭・地域と学校が同じ目標をもって積極的に協働を進めてまいります。ホームページや各種ブログ等で年間を通して情報をタイムリーに提供し、また、生徒と学校をつなぐ「G-suite」、県の「スクールサイン」など相互理解を深めるツールの活用により、生徒理解や家庭・地域との情報共有を進めてまいります。

(3) PTA活動の活性化に向けて

学級や年次のPTA活動に加え専門部の各種事業の計画と運営、また、例年は酒田まつりや学校行事など生徒活動のために大変活発な支援を頂戴しております。このPTA活動を生徒の健全育成や学校の環境整備のみならず、保護者の皆様や教職員の社会教育の場となるよう工夫を重ねてまいります。特に、令和3年度は本校開校10年を迎えます。この機会にも保護者の皆様からも積極的なご協力を賜りますようお願い申し上げます。今後ともさまざまな取り組みや生徒の様子を紹介しながら、PTA活動への理解を図ります。

5 おわりに

学校評価にご協力いただき、誠にありがとうございます。皆様からの一つひとつのご意見を真摯に受けとめ、学校経営のさらなる改善に努めてまいります。

今後とも本校教育活動へのご理解とご協力をお願いいたします。